

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム小牧白寿苑

目標達成計画

作成日: 令和5年12月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ渦に置いて入居者は外出が出来ないストレスから不穏な行動がみられ、認知症状の進行が懸念される。	外出して気分転換を図る。	屋上散歩や施設の周りを散策。懐かしい場所へ出かけるなどの回想法を活用し、認知症の進行予防に努める。	12か月
2	48	屋内で過ごすことが多く、季節を感じ取っていただく機会が少なかった。	施設内で四季を感じられるイベントを行う。	昔の風習など日常生活の中に自然に取り入れてきた皆様なので、その季節に合ったおやつを作ったり、絵手紙や壁画を作ることで視覚から感じ取っていただく。	12か月
3	12	コミュニケーションがうまく取れず、ストレスを感じて体調を崩す者があられ、業務に支障が生じた。	ストレス要因を改善し、働く職員の心の健康を保持・増進し、職員が心の健康問題に陥ることを未然に防止する。	相談窓口の設置するなど、ストレス者のフォロー体制を確立する。	12か月
4	10	面会が再開され、徐々に外部の方にご来苑いただけるようになってきたが、現場職員と面談する機会が乏しい。	外部者からの意見を聞き、サービスの向上に努める。	感染防止対応に十分配慮し、ボランティアの受け入れなどを前向きに検討。受け身でなく当苑から情報発信することで、外部者からの提案をしやすい環境を作る。	12か月
5					